



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 黒田精工株式会社

コード番号 7726 URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 黒田 浩史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 荻窪 康裕

TEL 044-555-3800

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,122	△2.8	△114	—	△53	—	△81	—
27年3月期第1四半期	3,211	23.5	△148	—	△116	—	△92	—

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 50百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △77百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△2.91	—
27年3月期第1四半期	△3.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
28年3月期第1四半期	18,635		8,026		42.1	279.34		
27年3月期	18,710		7,991		41.7	277.78		

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 7,839百万円 27年3月期 7,796百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	—	—	1.00	1.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	7,000	5.1	30	—	80	—	50	—	1.78	
通期	14,000	4.3	60	—	160	—	100	—	3.55	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	28,100,000 株	27年3月期	28,100,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	35,684 株	27年3月期	35,540 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	28,064,316 株	27年3月期1Q	28,064,867 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済状況は、中国の景気減速やギリシャ債務問題等の懸念材料はあったものの、政府による財政・金融政策等の効果が継続し堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの成績は、モーターコアの大手顧客による生産調整の影響や、海外子会社の低迷を主要因として、受注高は3,501百万円（前年同期比△180百万円、4.9%減）、売上高は3,122百万円（前年同期比△88百万円、2.8%減）と前年同期と比べ若干の減少となりました。

利益面に関しては、減収の影響があった一方で、利益率の高い製品の売上構成比が高かったこと、販売費及び一般管理費を抑制したこと、海外子会社における合理化が一定の効果を生んだことに加えて、為替差益の計上もあり経常損失53百万円（前年同期は経常損失116百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失68百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失92百万円）と前期同期の経常損失を半減させましたが、残念ながら経常利益の計上にはいたりませんでした。

セグメントの業績は以下のとおりです。

#### ○駆動システム

当セグメントの受注高は1,648百万円（前年同期比△71百万円、4.2%減）とわずかに減少したものの、買収した米国子会社が好調であることに加え、前年度に設立した中国の販売子会社の順調な滑り出しにより、売上高1,678百万円（前年同期比159百万円、10.5%増）となりました。利益面では、営業利益127百万円（前年同期比102百万円、414.2%増）の結果となりました。

#### ○金型システム

当セグメントにおいては、中国の海外子会社の合理化に伴う受注縮小に加え、ハイブリッド車向けのモーターコア受注が低調だったことにより、受注高は748百万円（前年同期比△267百万円、26.3%減）、売上高は635百万円（前年同期比△181百万円、22.2%減）となりました。こうした減収結果により、営業損失148百万円（前年同期は営業損失91百万円）となりました。

#### ○機工・計測システム

当セグメントでは、好調な工作機械受注に牽引され、受注高は1,125百万円（前年同期比173百万円、18.2%増）となりましたが、大口商品の売上は第2四半期以降であることに加え、前年同期のツーリング事業譲渡に伴う「ラストパイ」の反動による売上高の減少や英国子会社の低迷が影響し、売上高は829百万円（前年同期比△53百万円、6.1%減）と低調に推移しました。この結果、営業損失59百万円（前年同期の営業損失65百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は18,635百万円となり、前連結会計年度末と比較して74百万円減少しました。これは主に固定資産が90百万円増加したのに対し、現金及び預金、売上債権等の減少により流動資産が165百万円減少したことによるものです。

負債合計額は10,608百万円となり、前連結会計年度末と比較して109百万円減少しました。これは主に短期借入金が増加したのに対し、仕入債務が175百万円減少したことによるものです。

また、当第1四半期連結会計期間末の純資産は8,026百万円となり、前連結会計年度末と比較して34百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が139百万円増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想につきましては、前回公表（平成27年5月15日）の業績予想を変更していません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,533,358	2,197,810
受取手形及び売掛金	3,079,461	3,020,602
商品及び製品	494,715	539,403
仕掛品	1,453,233	1,565,688
原材料及び貯蔵品	532,099	619,259
その他	522,574	507,198
貸倒引当金	△2,373	△2,364
流動資産合計	8,613,070	8,447,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,561,891	2,590,752
土地	1,888,125	1,888,125
その他(純額)	1,546,961	1,493,540
有形固定資産合計	5,996,978	5,972,418
無形固定資産		
のれん	1,253,327	1,253,234
その他	361,888	349,304
無形固定資産合計	1,615,216	1,602,538
投資その他の資産		
投資有価証券	1,767,407	1,961,714
その他	719,337	652,581
貸倒引当金	△1,579	△1,279
投資その他の資産合計	2,485,164	2,613,016
固定資産合計	10,097,359	10,187,973
資産合計	18,710,430	18,635,572

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,787,471	2,612,192
短期借入金	1,344,868	1,464,608
未払法人税等	104,128	35,662
賞与引当金	108,418	225,234
その他	1,140,764	1,084,232
流動負債合計	5,485,651	5,421,930
固定負債		
長期借入金	2,072,340	2,075,010
役員退職慰労引当金	126,173	119,941
環境対策引当金	93,872	93,872
退職給付に係る負債	1,797,805	1,780,331
その他	1,142,939	1,117,866
固定負債合計	5,233,130	5,187,022
負債合計	10,718,782	10,608,952
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,875,000	1,875,000
資本剰余金	1,451,395	1,451,395
利益剰余金	2,768,730	2,658,754
自己株式	△7,746	△7,779
株主資本合計	6,087,378	5,977,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	635,191	774,781
土地再評価差額金	831,025	831,025
為替換算調整勘定	459,631	467,003
退職給付に係る調整累計額	△217,212	△210,690
その他の包括利益累計額合計	1,708,635	1,862,120
非支配株主持分	195,633	187,128
純資産合計	7,991,648	8,026,619
負債純資産合計	18,710,430	18,635,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,211,082	3,122,128
売上原価	2,579,640	2,479,535
売上総利益	631,441	642,592
販売費及び一般管理費	779,738	756,948
営業損失(△)	△148,296	△114,355
営業外収益		
為替差益	6,608	35,907
持分法による投資利益	4,125	7,943
設備賃貸料	15,845	16,719
受取ロイヤリティー	21,775	23,446
助成金収入	21,912	—
その他	16,958	18,472
営業外収益合計	87,225	102,489
営業外費用		
支払利息	19,831	17,379
その他	35,439	24,083
営業外費用合計	55,271	41,463
経常損失(△)	△116,342	△53,329
特別利益		
固定資産売却益	2,189	—
特別利益合計	2,189	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△114,152	△53,329
法人税、住民税及び事業税	15,426	43,931
法人税等調整額	△28,561	△12,251
法人税等合計	△13,135	31,679
四半期純損失(△)	△101,017	△85,009
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,686	△3,100
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△92,331	△81,908



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△101,017	△85,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,316	139,590
為替換算調整勘定	△35,534	1,968
退職給付に係る調整額	△7,626	△6,521
その他の包括利益合計	23,156	135,037
四半期包括利益	△77,861	50,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,571	58,532
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,290	△8,504

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,514,656	816,688	879,737	3,211,082	—	3,211,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,828	5	2,966	7,800	△7,800	—
計	1,519,485	816,694	882,703	3,218,883	△7,800	3,211,082
セグメント利益又は損失(△)	24,770	△91,435	△65,612	△132,277	△16,019	△148,296

(注) 1 セグメント損失の調整額△16,019千円は、セグメント間取引消去△1,223千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△14,795千円であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,666,573	635,637	819,917	3,122,128	—	3,122,128
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,226	0	9,306	21,533	△21,533	—
計	1,678,800	635,637	829,224	3,143,662	△21,533	3,122,128
セグメント利益又は損失(△)	127,368	△148,168	△59,202	△80,003	△34,352	△114,355

(注) 1 セグメント損失の調整額△34,352千円は、セグメント間取引消去△20,256千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△14,095千円であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。